授業科目	＊老年看護学実習					実務家教員担当科目	－
単位	2	履修	必修	開講年次	3～4	開講時期	後期・前期
担当教員	溝部　昌子						
授業概要	老年看護学は、対象である高齢者を、生物医学的な存在としてだけでなく、その暮らしや考え、ライフヒストリーなど、心身の機能、時間や価値観の境界を設けず、その人の生きる環境の中でとらえ、豊かな生を全うすることを支えるケアを指向します。加齢性の身体機能の低下、加齢性疾患、心理・社会機能の低下を予防する取り組み、評価方法、病態や機能の改善につながる治療やケアを通して、老化に抗いながらも適応しながら再構成していく老年期の暮らし、多様な価値観・情報・技術・行動力と年長者に対する敬いや、文化の継承を担う連帯、様々な背景の人々とかわすコミュニケーションなどを実践的に学びます。 実務家教員は、高齢者看護・介護の実務経験を活かし、対象患者のアセスメント、コミュニケーション、ケアの提供を学生と共に検討し、臨地実習指導者と共働して実習指導にあたります。						
授業形態	臨地実習			授業方法	臨地実習、学内実習		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	・対象の健康障害、加齢性の変化、生活機能の関連を理解し、看護問題の要因を分析し、適切な看護ケア計画、看護目標を設定できる ・対象の高齢者に関心をもち、共感的にコミュニケーションがはかれる ・指導に応じて成長し、自己で振り返りができる
理想的レベル	・対象の病態看護問題の理解が適切で、看護目標・看護ケア計画は患者の病態に適切で、エビデンスに基づいている ・対象への看護ケアの提供に効果的なコミュニケーションがはかれる ・自己の成長を振り返り、課題を見出すことができる

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	100%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	－	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU31326J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
・実習要綱、老年看護学実習週間予定表、老年看護学実習記録様式、老年看護学アセスメントガイドに従って、日々の実習目標、実習課題、提出記録に取り組んでください	0

授業計画

第 1 回	・小倉リハビリテーション病院、戸畑共立病院、小倉第一病院、製鉄記念八幡病院のいずれかで実習する

	・学生 2～3 名で、患者 1 名を担当し、看護過程を展開し看護を実践する ・最終日に、老年看護学実習報告会として、事例発表を行う ・実習記録は学生個人で作成する
テキスト	・生活機能から見た老年看護過程　医学書院 ・看護診断ハンドブック　医学書院
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・生活機能から見た老年看護過程　　医学書院 ・ナーシンググラフィカ　老年看護学①②　MC メディカ出版 その他、研究論文、診療ガイドライン、疾患や薬剤情報に関する Web サイト、学会ホームページなどの患者説明資料など様々な資料を効果的に用いてください
課題に対するフィードバックの方法	口頭試問、面談、老年看護学実習評価表に基づく評価
学生へのメッセージ・コメント	高齢者の疾患や病態が複雑なのは言うまでもありませんが、これまでの暮らし、仕事や家族、生き方など、未知の人生との出会いの連続が、老年看護学の大きな特徴でもあります。現代あるいは未来をどう生きるか、高齢者の方もまた、悩みや選択を繰り返す存在であり、老年看護学で学んだ知識を発展させて、学び続けることが成長につながると思います。